

10月15日に発生したシステム障害及び、今後の対策について

平成22年10月27日

2010年10月15日ディールFXにおいて発生しましたシステム障害において、お客様に多大なご不便、ご迷惑をおかけいたしましたこと心よりお詫び申し上げます。
今回発生した障害の原因及び、今後同様の障害を起こすことがないように、対策についてご報告させていただきます。

○障害発生原因

10月16日(土)に予定していたデータセンターの移設に伴い、10月11日(月)から15日(金)までの一週間、データの一部を新データセンターと旧データセンターにて並行稼働し、データの同期を図っておりました。
相場の急変により、トランザクションが想定を越えたことで、2つのデータセンターのコミュニケーション部分に問題が発生し、マージンシステムが一時的に不能となりました。

○障害で発生した事象

- ・ログインができない
- ・約定していない取引がポジションに表示される
- ・決済済みのポジションが表示される
- ・ロスカットが実行されない
- ・約定結果とポジションが一致しない

○今後の再発防止策

今回の障害に関しては、データセンターの移設が終了し、新旧2つのデータセンターを同時管理する必要がなくなったため、今後両者間での通信エラーは発生しません。

しかしながら、他の要因も含め、今後のシステム障害の発生を未然に防止するため、構成の変更、新たな機能のリリースを始めとする全ての本番環境におけるシステムイベントについて、以下の通り改善を図ってまいります。

(既に実施と現在企画中でこれから実施を含む)

- ・作業手順書の記述内容の見直しとその確認要員の拡大
事前動作確認項目の見直し
確認項目が適切か評価するフローの追加
- ・リリース判定基準の引き上げ
- ・関係部署内における情報の共有体制の整備
- ・改変時を始めとする監視要員の増員とシステムによる監視体制の強化

今回の障害に関し、お客様に多大なご迷惑をおかけいたしましたことを、改めてお詫び申し上げます。

今後ともひまわり証券をご愛顧賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

ひまわり証券株式会社
役職員一同